第１２号様式

船橋市発注工事の過去４カ年度間の「業種：○○」での工事成績評定点

工事名：

商号又は名称：

|  |  |
| --- | --- |
| ふりがな  技術者氏名 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ７３点以上の実績あり | （工事名、工事完成（引渡）年度及び点数を記載） |
|  | ７３点以上の実績なし | |

|  |  |
| --- | --- |
| 添付資料 |  |

（注記）

１．本工事に主任技術者または監理技術者として配置する予定の技術者（以下「技術者」という。）について作成してください。

２．実際の工事の施工にあたって、種々の状況からやむを得ないものとして発注者が承認した場合のほかは、本書に記載した技術者以外の者への変更は認めないので注意してください。

３．様式タイトルの「業種：○○」の「○○」は、入札公告に示している業種に変更してください。

４．該当する項目のいずれかひとつに「○」を付け、「実績あり」の場合は工事名、工事完成（引渡）年度及び点数を記載してください。

５．「実績あり」の場合は、点数を証明できる資料（工事検査結果通知書及び工事技術検査結果）と、従事していたことが確認できる資料（「登録内容確認書（工事実績）竣工登録」等）の両方を添付してください。また、添付資料の欄にそれらの資料名を記載してください。なお、当該工事で技術者の途中交代があった場合は、従事期間が最も長い技術者のみを評価します。（余裕期間制度を用いた工事の場合は、配置を要しない期間は除きます。）ただし、工場製作を含む工事において工場製作期間と現地据付期間で配置技術者を分けて従事した場合は、現地据付期間の技術者の経験を評価する。

６．「実績あり」の工事が「過去○○年間の同種工事の施工実績（第５号様式）」の工事と同一の場合、添付資料の欄に「第５号様式の添付資料と同じ」と記載すれば施工実績を証明する資料の添付は不要です。

７．「実績あり」の工事が「過去○○年間の同種工事の施工経験（第１１号様式）」の工事と同一の場合、添付資料の欄に「第１１号様式の添付資料と同じ」と記載すれば施工実績を証明する資料の添付は不要です。

８．産前・産後・育児・介護の各休業により休業した場合で、評価対象期間に休業期間相当分を加えた期間で申請する場合は、休業期間を証明できる資料（事業主が労働者に休業期間を通知した書面等）を添付してください。